

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	東部こども療育センターのびのび教室		公表日	8年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		・現在の訪問では、教材を使用していない。 今後、必要となる場合はのびのび教室のものを 使用する。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			・訪問する保育者はクラス担任と兼務している ため、今後利用希望者が増えた場合の職員 配置を考えていく。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援管理責任者が作成したねらい を、保育者、発達相談員、所長が確認し、意 見をもらいながら修正をしている。また、相 談支援員とも共有している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者には、訪問での様子を話す際に、意 向を聞く機会をつくっている。	・今年度より保育所等訪問が始まったため、 保護者の評価表の意見を今年度より取り入れ る。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	<input type="radio"/>		・クラス担任と兼務しているため、保育所等 訪問の日程を調整するなどしている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		<input type="radio"/>		・第三者による外部評価は受けていない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	<input type="radio"/>			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・相談支援事業所との連携を行い、保護者の 思いについて共有している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		・訪問先と話し合い、意向を確認して反映さ せている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	<input type="radio"/>		・訪問支援員、児童発達支援管理責任者、発 達相談員、管理者の職員で共有している。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	<input type="radio"/>		・支援に関わる職員で共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	<input type="radio"/>		・事前に話し合った活動内容について、当日 確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・訪問先の支援の悩みを聞きとり、支援の振 り返りや子どもに対する支援を話し合ってい る。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・保護者の思いを伝えた上で、訪問時の活動 を訪問先と確認している。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	<input type="radio"/>		・毎回訪問時に記録を取り、訪問先や保護者 との共有や、支援の検証を行っている。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	<input type="radio"/>		・定期的に保護者とのモニタリングや意向を 聞きとり、また訪問先との確認を行ってい る。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○			・今年度、保育所等訪問を利用している子どもが対象年齢ではないが、今後対象年齢であれば、連携を図る。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○				
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○				・訪問後、電話や対面で報告をし、共通理解を行っている。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			・現在は実施していない。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				・事前に説明を行っている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○				・訪問先に、目的などの説明を行っている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				・計画を作成する際や、毎回の訪問報告の際にも、保護者の意向を確認している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○				・相談支援事業所のモニタリングや、訪問報告の際に対応している。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			・現在は行っていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				・ホームページに園での年間の活動内容や情報を発信している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○				
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・子どもに対する関わりや児の姿からの思いなど、療育の視点から話しをしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・職員研修や虐待防止委員会を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・保護者に説明を行っている。	・身体拘束についての職員研修を行っている。